

令和7年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文字は読めるが、言葉のまとまりを意識して読むことに課題がある。 ・文を書く際に、「は」「を」「へ」の間違いが多く見られ、定着できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読をする際には範読する時間を必ず取り入れる。【表現】 ・学力向上タイムなどで書く練習を反復して行う。【表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文からキーワードを見付け、足し算か引き算かを判断することが苦手な児童が多い。 ・引き算の立式で、大きい数から小さい数を引くという概念が定着できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の際は、キーワードになる言葉に印を付ける活動や、イメージを図に表す活動を繰り返し行う。【表現】 ・学力向上タイムや家庭学習で計算カードに取り組む時間を設ける。【表現】 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験の差から、見通しが持てないと、積極的に活動に取り組むことのできない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心して活動に取り組めるように、動画などを活用して見通しをもてるようにする。【発見】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちが優先され、聴いた曲のイメージを表現する活動に消極的になる児童がいる。 ・鍵盤ハーモニカを正しい指使いで正しい音を出すことに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しがもてるように活動内容を掲示して児童が安心して活動できるようにする。【表現】 ・基本の指の置き場所を教具を使って黒板に示し、意識しながら繰り返し練習に取り組む。【表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に慎重な児童が多く、自分の想像力を働かせて作品を作ることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心して活動に取り組めるように、見本を複数用意したり、一緒にやってみせるようにする。【発見】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の動きに懸命になってしまい、友達の動きのよさを発見することが難しかったり、同じチームの友達を励ますなどの声掛けが少なくなったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の中から手本となる動きや声掛けなどを取り上げ、互いに称賛する機会を多く設けていく。【対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の習熟に個人差がある。 ・誤った助詞を使ったり、促音・拗音・長音が正しく表記できなかったりすることがよくある。 ・文章を読み取ることが難しく、感想を書くことに時間を要する児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テストを行い、習熟を図る。【表現】 ・正しく書けているか推敲する時間を確保する。【発見】 ・挿絵や写真を効果的に用いて興味・関心を高めたり、想像力の幅を広げたりできるようにする。【発見】 ・読書の習慣を身に付ける。【発見】 ・感じたことを友達と交流する機会を多く設定する。【対話】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算力の定着に個人差がある。 ・単位の間違いや量感がつかめず問題を解くのに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上タイムなどで既習事項の問題に取り組む時間を取り、基礎的な計算力が身に付くようにする。【決定】 ・授業の始めに「100ます計算」や前時の授業の復習問題に取り組みむなどして反復練習をする。【決定】 ・身近にある牛乳パックやコップ、プールや教室の大きさ等の量感を把握する。【発見】 ・具体物を用いて実際に計測したり、物の単位を示したりすることで量感を捉えられるようにする。【表現】 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことや気付いたことを絵や文で表現する力に個人差がある。 ・地域の人々との交流を通して、自身の地域に興味をもったり、自身の地域の良さや考えたりする活動が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ」などの体験を通して児童一人一人の気付きを大切にする指導を行う。【発見】 ・初めて知ったことや、もっと知りたいことについて友達と交流し合う活動を通して、地域の理解を深められるように指導する。【発見・表現・対話】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカでは、指使いの習得に時間を要する。 ・曲に合った歌い方や弾き方ができるようにすることや、リズムや拍に合わせられるように取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の指の置き場所を意識したり、指番号で歌ったりして、繰り返し練習に取り組む。【表現】 ・曲のリズム「タン（ウン）」などを目で見て分かるように掲示物で示す。【発見】 ・曲に合わせて体を動かしたり手拍子をしたりしながら音楽を聴いたり歌ったりする活動を積極的に取り入れる。【表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な量で糊を使うこと、角と角を合わせて紙を折ること、絵の具を使うときに適切な水の量や絵の具の量を使うことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用したり、児童の分かりやすい具体的な言葉で量を示したりするなどして、視覚的に適切な量や方法を示す。また、図画工作だけでなく、他の教科のワークシートを貼る際にも指導を行う。【発見】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が好きで、友達と仲良く楽しく運動に取り組む姿が多く見られるが、運動遊びを工夫したり、友達と協力したりしながら学習課題を解決しようとする力をより一層身に付けることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で様々な運動遊びと出会い、体育への意欲を高めることができるようにする。【発見】 ・運動との多様な関わり方の中で、「知る」や「する」のみならず、「見る」（友達のよい動き）「支える」（励ます声掛け）を意識した指導を行う。【対話】 ・学習カードを活用した振り返りを行い、次時の目標を考え目的意識をもてるようにする。【対話・発見・決定】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書くことに課題がある。 考えたことを要約して話したり、聞いたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 週に1回日記を書くことを通して、文章を書くことに慣れる。【表現】 短く分かりやすい指示を心掛ける。 ペアやグループなど、小集団で伝え合う活動を取り入れ、発表する機会を設定する。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数量や単位の間違いが、多く見られる。 文章問題で質問に対する適切な答えを求めることに課題がある。 基本的な計算問題でつまずきが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物の数量を計測させたり、ICT機器を活用したりして数的感覚を養う。【発見】 問われている部分に下線を引くなどして、問題文の意図を読み取れるようにする。【表現】 ドリルやプリント等を活用して復習に取り組み、基礎的な計算力が身に付くようにする。【発見】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 生き物の飼育や観察にすすんで取り組む児童が多いが、関心が少ない児童もいる。 根拠のある予想を立てることに課題がある。 観察や実験の結果から分かったことをまとめるのに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ベランダや裏庭での飼育・栽培活動を充実し、身近な生き物の生態や変化に興味・関心をもてるようにする。【発見】 これまでの生活経験と関連付けながら、問題に対する予想を立てられるようにする。【表現】 実験結果から何が言えるのか、考察する時間を確保し、良い考えを全体で共有する。【決定・表現】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取る力や、情報収集能力に課題がある。 学習問題に対する予想や、自力解決する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書だけでなく身近な資料も活用する。【表現】 資料から読み取れることを友達と共有し、新しい考え方に気付けるようにする。【発見・対話】 自分たちの生活経験と結び付けて予想を立てたり、解決したりするように声かけをする。【表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーは主に運指を意識しており、音色や響きに気を付けて演奏することに課題がある。 曲に合った歌い方や弾き方ができる児童が多くいるが、リズムや拍に気を付けて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの美しい音色に親しませるとともに、音の高さなどに応じたタンギングの仕方や息の使い方を身に付けさせる。【発見・表現】 ねらいを明確にして常時活動に取り組み、学年に応じた共通事項の内容が身に付けられるようにする。【対話・表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 活動の見通しがもてず計画的に制作できない児童もいる。 既存のキャラクターなどを表現のメインにしてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の流れを毎授業ごと確認し、一回の授業でどこまで進めればいいのかを児童自身で決定していく。【決定】 オリジナルの作品の定義を確認し、児童の思い尾を確認しながら少しずつ自分で考えた部分を多くし、自分で考えたことへの達成感をもてるようにする。【発見・対話】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に活動することが好きな子が多いが、自分の課題に気付いていない児童もいる。 健康面に対して興味・関心がない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 紅白帽を活用し、今日の自分の課題が達成できた児童は帽子の色を変えて、視覚的に分かるようにする。【発見】 ペアやグループでの活動を充実し、学び合いの場を設定する。【対話・発見】 元気いっぱい南っ子カード等を活用して、自分の生活を振り返る場を設定する。【発見】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟、定着に個人差がある。 段落や文章構成を意識して、文章を書くことが難しい児童がいる。 自分の意見や思いを言葉にして伝えることが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字の復習を行う時間を設けたり、小テストを定期的実施したりして定着を図る。【表現】 モデル文を示し、文章構成や内容を確認しながら学習を進める。【発見】 ペアやグループなど、小集団で伝え合う活動を取り入れ、発表する機会を設定する。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 正確に四則計算をすることに課題がある。 文章問題の読解に課題があり、立式したり、答えを導き出したりすることが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算プリントなど、反復練習の機会を設け、計算能力の向上を図る。【表現】 文章を分解していき、キーワードや言葉の意味を考えさせ、読解のコツを確認していく。【発見】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験は意欲的に行っているが、目的や観点がずれてしまうことがある。 実験結果を記録したり、その結果から考察したりすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題や活動の目的を明確に示す。【発見】 表やグラフで整理したり、図を用いたり、様々な結果の記録方法があることを示し、活動に合わせて選択できるようにする。【表現】 考察を書く際のポイントを常に確認する。【発見】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に対するまとめや考えを整理することに課題がある。 資料や情報から、多角的な見方や視野を広げていくことを要する。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめる際のポイントや重要語句を確認するとともに、必要に応じて例示したりする。【表現】 単に見えた物だけではなく、その資料からどんな課題や人々の思いがあるのか読み取る際のポイントを示し、よい着眼点は褒め、共有する。【発見・表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーは主に運指を意識しており、音色や響きに気を付けて演奏することに課題がある。 自分の要望が優先し、学習のめあてや学習活動の目的からずれてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの美しい音色に親しめるとともに、音の高さなどに応じたタンギングの仕方や息の使い方を身に付けさせる。【発見、表現】 授業のはじめや活動に入る前に、めあてや目的を明確に示し、児童が達成できるよう、状況を見ながら適宜声掛けを行う。【発見、決定】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を踏まえてルールを守りながら制作しているが、その分アイデアを出す段階で自分の思いを表すことが苦手な児童が多い。 粘り強く学習を進めることに課題のある児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作品例などを提示したり、友人の意見を聞いたりすることで、考えのヒントになるような時間を取り入れる。【発見】 目標達成まで小さな課題を項目ごとに設定し、達成感を高める。【発見】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 体の使い方や技能の習得に差が見られる。 自分の「できた」ことや技のポイントなど、振り返りを言葉で表現することが難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> グループの友達同士で、お互いの体の動きや技を見て、よいところやアドバイスをする時間を設け、客観的に自分の動きを把握できるようにする。【発見・対話】 「する」「見る」「知る」「支える」これら全てが「できた」になることを確認し、目標をもって授業に参加するよう意識付けをする。【発見】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・段落に気を付けて、作文や感想文を書ける児童もいるが、個人差が見られる。 ・既習漢字の定着に課題が見られる。 ・読み取りについては、できている児童が多いが、自分の考えや感想を表現することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文や評価の観点を示し、文章構成や内容を確認しながら学習を進める。段落を意識できるようにする。【発見】 ・既習漢字の復習を行う時間を設けたり全校漢字テストに向けての学習を取り入れたりしていく。【表現】 ・自分の考えや感想をまとめる機会を設定するとともに、例を示すなどし、伝え合う活動を意図的に設ける。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数の学習には意欲的だが、苦手意識をもっている児童もいる。 ・正確に四則計算をすることに課題がある。 ・自力解決の際、自分の考えをもてても伝えられない。自分の考えを教師や友達へ伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップを意識して個別の支援を行うなどし、多くの成功体験ができるようにする。【発見】 ・計算プリントなど、反復練習の機会を設け、計算能力の向上を図る。【表現】 ・自分の考えや提示された解決方法を伝え合う活動を意図的に設ける。【対話・表現】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験は意欲的に行っているが、目的や観点がずれてしまうことがある。 ・実験結果を記録したり、その結果から考察したりすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題や活動の目的を明確に示す。【発見】 ・表やグラフで整理したり、図を用いたり、様々な結果の記録方法があることを示し、活動に合わせて選択できるようにする。【表現】 ・考察を書く際のポイントを常に確認する。【発見】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対する答えを整理することに課題がある。 ・情報の収集、取捨選択が苦手な児童がいる。 ・友達と意見を交流することで、考えを深めることに必要感を感じていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめをする際のポイントを確認したり、必要に応じて例示したりする。【発見】 ・課題のポイントを押さえ、そのポイントに資料や情報が合っているか確認をする時間を設け、相談や話し合いをする。【対話・決定】 ・グループでの話し合いを共有する時間を多くとり、対話で深い学びにしていく。【対話】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現に必要な技能を身に付けることに時間を要する。 ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもつことができるが、それらを実現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで課題を提示したり、友達と学び合う時間を意図的に設けたりし、楽しんで技能を習得できるようにする。【対話・決定】 ・表現方法を様々に試して比較させたり、表現の変容を捉えて表現が豊かになったことを価値づけ、全体で共有したりする場面を設ける。【発見・表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに取り組んでいるが、困難なことがあった時に集中力が切れてしまうことが多い。 ・見通しをもって、進めることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢や例示を提示して、自ら解決できるようにする。【発見】 ・段階別の掲示をしたり、参考作品を見たりすることで自己の状況を確認し決定できるようにしていく。【決定】 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験の有無により、技能習得に個人差がある。 ・実習や製作を行う際に、根気よく自ら考え進めることに慣れていない。 ・作品作りで自分の技能を生かしたものを計画することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫い、ミシン縫いなど繰り返し行う機会を計画する。家庭学習に組み込むことを増やす。【発見】 ・少人数グループによる学習を多くし、自ら考えたり進めたりするための方法を学び合う。【表現】 ・習得した技能を確かめ、作品例を提示したり互いに鑑賞したりする機会を増やす。【対話】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を捉え、友達と教え合ったり、聞き合ったりすることに課題がある。 ・日常的に運動に親しみ、自分の体力向上に向け、取り組むことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な場で自分に合う練習方法を選択して、友達と見合いながら、運動の楽しさを味わうことができるようにする。【決定・対話】 ・「南スポ」や「南チャレモーニング」を活用し、楽しく運動の日常化を図り、体力の向上を目指す。【発見】 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で継続して英語を使う場面が少ないため、定着に時間がかかる。 ・英語を話したり聞いたり、文にすることにチャレンジできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のあいさつだけでなく、今まで学習した内容も積極的にウォームアップ活動に取り入れる。【表現】 ・インタビューやグループワーク、発表など友達やALTとの英語での交流活動を積極的に設定する。【対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を考えながら、目的に合った文章を書くことが苦手な児童が多い。 漢字の習熟に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く機会を確保するとともに、友達の文章を確認できる学習環境を作ること、目的に合った文章作りができるようにする。【対話】 新出漢字や新しい読み方などに注意することで、正確に読み書きできる力を身に付けていく。また、宿題やプリントを活用しながら定着を図る。【発見・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 分数のかけ算、わり算の計算、通分、約分を正確にすることが苦手な児童が多い。 問題文を読み取り、正しく立式をすることに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算を応用する「あまりのあるわり算」の計算を学力向上タイム等を活用し、年間通して取り組んでいく。また、プリント等を活用し、繰り返し取り組むことで定着を図る。【決定】 数直線を正確に活用できるようにしたり、図や絵を用いたりして立式できるようにする。【表現】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験で分かった結果から自分の言葉で考察を書くことに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの実験に加え、ICT 機器を使って動画を視聴するなど、理解の充実を図り、考察を書く時間を十分確保する。【表現】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を多角的な視点で読み取ることに課題がある。 学習問題を予想する活動に難しさを感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人、物、事、過去との比較の視点をもとにして、読み取り、発見を共有することで、1枚の資料から様々な発見があることを知る。【発見】 予想する手だてとして、年表を示すことで、どのような人物や出来事が、その時代に影響を与えたか予想しやすくする。【発見】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現をするために必要な技能が身に付いておらず、習得状況に個人差がある。 自分なりの思いや意図をもって工夫して表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで課題を提示し、自分の到達度について児童自身が把握し、学習方法を選択できるようにする。【発見・決定】 友達と考えを比較・共感したり、表現を試したりする時間を設け、思いや意図をもてるようにする。【対話・表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの表現を見付けようと取り組む児童が多いが、用具の扱いに課題がある。 作品についての自分の思いを発表することや、意見を伝え合うことに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具を安全に使用するよう配慮すると共に、表し方を工夫して作品を作る楽しさを味わう中で既習事項を確認しながら材料の扱い方や技能を身に付けるようにする。【発見】 自ら考えたことを小グループで共有する場面を作るなど、対話する時間を取り入れる。【対話】 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 作業手順や必要な物の準備などで、自ら考え進めることに課題がある。 学習中に困難なことが生じたときに適切にたずねることが難しい。 作品作りで、工夫を加えたりイメージを作ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて準備・手順・段取りが確認できるようにビッグパッドに掲示したりパワーポイントを作成したり児童に合わせた活動ができるようにする。【発見・表現】 少人数グループやペア学習の機会を増やし教え合い、聞き合い、イメージ作りをする力を付ける。【対話・表現】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分がどのように体を動かしているのか客観視できず、技能の習得に差が見られる。 自分の課題を見付けることに苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達からのアドバイスや資料の活用の他にタブレットで撮影したものを見て、自分の動きを把握できるようにする。【発見】 授業前に今日の目標、授業後に振り返りと次回の課題を明確にする時間を設ける。【発見】 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で継続して英語を使う場面が少ないため、定着に時間がかかる。 英語を話したり聞いたり、文にすることにチャレンジできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的あいさつだけでなく、今まで学習した内容も積極的にウォームアップ活動に取り入れる。【表現】 インタビューやグループワーク、発表など友達や ALT との英語での交流活動を積極的に設定する。【対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。